



本日 第2225回 2016年12月3日(土) No. 2110

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング「君が代」・「奉仕の理想」

年忘れ家族会

点鐘 18:00

於名古屋東急ホテル

前 回 第2224回 2016年12月2日(金) 記 録

○斉唱：「君が代」・「奉仕の理想」

出席者：会員 21 名中 18 名出席 出席率 85.71%
前々回補正出席率 11 月 20 日分 100.00%

会長あいさつ 山田 直樹



みなさんこんにちは。今日の例会はスケジュールが大変混み合っていますので会長挨拶は手短かに報告のみで終わらせていただきます。まず先週土曜日有志の皆さんで JC の

現役メンバーとの懇親会を開いていただいたことに感謝申し上げます。なかなか世代間の感覚の違いがあり、こちらが思っているような反応がなかなか望めないかもしれませんが、辛抱強くこういう機会を継続していただければ双方の理解がうまれてくると思います。また今週はロータリー研究会が、豊田 RC がホストで昨日まで名古屋キャスルホテルで開かれましてクラブの代表として昨日出席してきました。基調講演がありノーベル物理学賞受賞者の名古屋大学の天野教授のお話を聴くことができました。大変面白いお話でした。別の機会にお話ししたいと思います。今日はこの後年次総会を開催しますのでみなさんご協力をお願いします。

幹事報告

- ・11/30(水) 記念晩餐会 於ウェスティンコヤキャッスル
山田地区副委員長 出席
- ・12/1(木) 特別記念講演会 於ウェスティンコヤキャッスル
山田地区副委員長 出席
- ・12/2(金) 尾張旭市図書館訪問 仲澤幹事、
古橋エツ子直前会長 出席

本日の会合：年次総会 於尾張旭市商工会館内
例会場

第8回理事役員会 於尾張旭市商工会館内 第1会議室 13:50～

次回の例会：12/3(土) 12/9 振替 年忘れ家族会
於東急ホテル 17:30 受付 18:00 点鐘

おめでとう



○結婚記念日祝福
12月5日 舟橋 龍秀君

疾病予防と治療月間

	12月16日(金)	12月23日(金)	12月30日(金)	1月6日(金)
例	卓話担当者：山田 会長			
会	卓話者：菊田 利昭副幹事	定款第6条第1節により	定款第6条第1節により	定款第6条第1節により
予	演題：「東北復興支援事業の報告」	休会	休会	休会
定				



○誕生日祝福

12月10日 山田 直樹君

ご夫人 昌子様

12月25日 桜井 雅博君

ご夫人 郁子様

ニコボックス

○家内の誕生日を祝っていただき。

山田 直樹君、桜井 雅博君

○結婚記念日を祝っていただき。 舟橋 龍秀君

○ミャンマーから無事帰国しました。本日は卓話もよろしく。 箕輪 良孝君

○箕輪さん、本日の卓話楽しみにしています。

加藤 清久君、菊田 利昭君、古橋エツ子君

○ミャンマーの旅、行ってまいりました。お経さまの力を感じた旅でした。ミャンマーのチョコをめしがれ。 加藤 清久君

○いつも遅れたり、休みが多く申し訳ありません。次年度は私なりにがんばります。 金森 俊輔君

○明日の家族会、色々あるかもしれませんが、よろしくお願いします。来週からタイ・ラオスへ行きます。 森井 晴生君

○申し訳ありませんが、早退いたします。

浅野 善吉君

○会議のため早退します。 舟橋 龍秀君

第8回理事役員会

日時：2016年12月2日（金）

場所：尾張旭市商工会館内 第一会議室 13：40～

議題：1）会長からの報告（山田 直樹会長）

- ・水野よりのり市長市政報告会
- ・紅茶フェスティバル in 尾張旭結果報告
- ・第38回音楽の集い尾張旭大会結果報告

2）11月度会計報告（仲澤 昌容会委員長）

- ・了承された。

3）東北復興支援事業収支報告
（古橋 裕志社会奉仕委員長）

- ・了承された。

4）ソフトボール連盟について

- ・連盟について説明をした。

5）尾張旭市図書館の雑誌寄贈について

- ・館長と詳細を打ち合わせした旨報告した。

6）職場訪問例会について

- （古橋 裕志職業奉仕委員長）
- ・原案通り了承された。

7）城山さくらまつり協賛について

- （仲澤 昌容幹事）
- ・広報委員会より協賛することで了承された。

8）その他の件

- ・マラソン大会協賛広告について
図案を報告した。
- ・事務局年末年始休暇について
12/23～1/9 までの休暇で了承された。

卓話



「ミャンマーを
訪ねて」

箕輪 良孝

加藤清久君と二人旅。昨年にウズベキスタンに次いでの旅です。ミャンマーは、30年前にユニセフのプロジェクトを視察するツアーに参加の機会を得て訪れて以来2回目となります。当時は国名をビルマ、首都はラングーンと呼ばれており、社会主義の国、鎖国状態の時でした。その変わりようは言葉に尽くせませんが、ずいぶん発展していました。もう一度訪れたいのと思い、2年前にヤンゴンロータリークラブがR Iに登録されたことを知り、せひ訪問してみたいの思いをもつての旅行でした。しかり、木曜日例会の情報で例会の開かれるホテルを宿泊しましたが、11月24日ミャンマーの祭日であり例会もなく、色々情報を集めましたがよく分かりませんでした。11月21日、順調にセントレアを11時に飛び立って、バンコク経由で午後7時（時差2時間30分）に到着。30年前は、これが空港かと思われ、荷物をリヤカーで運んでくるといった風景で、夜に着いたのですが、街も真っ暗でどんな景色かもわからず、翌日明るくなってようやくわかりました。また、当時は社会主義の国の典型的な賄賂の社会で、入国の際、添乗員が何かのお土産を用意し、荷物もタバコを渡してようやく運んでくれるといった状態でした。今回は、立派な空港でスムーズに入国できました。街も明るく車も大変多くなっていました。車両は、バスもトラックも乗用車も日本からの中古車で、そのままの日本語が書かれた状態の車両が多く走っていました。ヤンゴンに現在首都ではなく、ネイビーに遷都しています。しかしミャンマー最大の都市です。歴史を2500年にさかのぼる釈迦の聖髪を納めたシュエダゴンパゴタ（高さ約100m）広さ東京ドームの1.3倍。先端に78カラットのダイヤモンドが輝き、周辺にダイヤモンド4351個、1800カラット、ルビー・サファイヤも多用されている建物に圧倒されます。5日目には、世界三大仏教遺跡のひとつであるパガンへ移動しました。1時間ほどのフライトです。11世紀、長く他民族が群雄割拠したミャンマーの地をビルマ族が初めて統一した王朝の都です。3世紀にわたる繁栄を謳歌した都には、王朝滅亡から700年経った今も、2000以上の仏塔寺院群が、赤茶けた大地に静かにたたずんでいる景色は圧巻です。パガンに4日間滞在して、時間がゆっくり流れるミャンマーを十分に満喫しました。最後のフロンティアといわれるミャンマーも民主化が始まって、様々な国が進出してくることは間違いありません。私たちのような豊かな国の人間から見ればけっして豊かには見えませんが、仏教を信じ「信人の世界」で暮らしている人々はけっして不幸せではありません。その影響で今の姿が変わってしまうのは淋しい気持ちもしますし、考えさせられます。